

「ぼうさい探検隊マップコンクール」で 千葉県旭市立中和小学校が「未来へのまちづくり賞」を受賞

日本損害保険協会関東支部 千葉損保会（会長：菅野 彰・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社千葉支店長）では、第20回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において「未来へのまちづくり賞（朝日新聞社賞）」を受賞した千葉県旭市立中和小学校「中和小学校4年1組」に対し、2月19日（月）に中和小学校において表彰式を開催いたしました。

本コンクールは、子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラムで、子どもたちの防災意識の向上や地域コミュニティの強化を目的として実施しています。

2023年度は、今までで一番多い全国の小学校や児童館など658団体から8,904人が参加し、1,708もの作品が寄せられ、そのうち22作品が入賞しました。

本作品は、防災をテーマとし、地域特性としてため池が多く、ため池の氾濫による洪水・浸水被害や地盤が弱いことによる土砂災害などに焦点を絞り、分かりやすいマップとなっています。また自分達の小学校の校舎は山沿いで土砂流入の危険があり、災害時の避難先はひかた市民センターであることを強調しています。さらにマップ作成にあたっては、行政機関など地域の方々にインタビューを行うなど地域の歴史などを調べ、マップづくりを通じて地域についての学びを深めた点も高く評価されています。

表彰式では、表彰動画の上映の後、主催者を代表して千葉損保会・菅野 彰 会長から表彰状および副賞の授与、作品の講評があったほか、受賞団体の代表児童などから「がんばって作ったマップが入賞できてうれしかった。先日は能登半島で大きな地震があった。これからも防災について、学んでいきたい。マップづくりに協力していただいた皆さん、ありがとうございました。」といった旨の感想が述べられました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、ぼうさい探検隊を中心に、防災教育活動の普及啓発に取り組んでまいります。



菅野千葉損保会長から表彰状授与



集合写真